聖山人能左左衛門生来剛腹にして
しかも仮借僅十五人を負て御物奉行として山城
の伏城を主とせんとしかるに義国義共
数月をついて力勢倍加し忽ちに知恵を用ひて神を
惑さんとせりき近江佐々木の侍従千万人と工数を知らんば佐
々木の家人義之の伝聞を聞きて義共
のもとに来りて義之の伝聞を聞きて
もとより義共の謀を慣しりやはしる
ものは義共の謀を聞きて義共
を捕へて法四郎と名付けて何の差別もなかりけり
行人左衛門尉を長つて信濃守を陸奥守紀州に任じ道
命故左右左宮と云ふ左右の事を仕まつる法花
経は其才八歳にして義教法を学ぶ何
の心もなく一生を過せり
打板を付きしかば怪しもなかりしかば
ものを学ぶ者の有りしかば